

# 令和3年度「子供司書」養成講座全体研修

■日時:令和3年7月17日(土) 9:30~12:00

■場所:庄原市田園文化センター

■対象者:「子供司書」養成講座受講者17名(庄原市内小学校第5・6学年希望者)

## 目的

児童の中に読書活動を推進するリーダーを育成し、育成したリーダーが学校や地域で読書活動の楽しさを広めていくことで、児童の読書活動の充実を図るとともに、言語活動の充実により学力向上を図る。

## 講話「『子供司書』になろう！」

庄原市教育委員会 教育指導課 指導主事 小谷 綾子



### 【講話の概要】

- 「子供司書」は、子供の読書活動を進めるリーダーである。読書の楽しさを周りの友達に伝え、読書を好きになってもらうことが大切である。
- 「子供司書」に認証されるために、これから地域の図書館での実地研修、学校での活動を行っていく。
- 読み聞かせ、ポップ作り、図書館の掲示物やコーナーを工夫することは必ず行う活動である。

## 講話・演習 「読み聞かせのプロから学ぼう！」

読書ボランティア「おはなしのいずみ」 代表 立花 有佐



### 【講話・演習の概要】

- 読み聞かせをする際には、本の選書がとても重要である。誰に対してどのような本を読むのかを考えよう。
- 絵本の読み聞かせは、絵をゆっくり見せることが大切。本を持つ時や本をめくる時に、手で絵を隠さないように。
- 聞き手の目線と本の高さや向きに気を付けよう。聞き手が椅子に座っている時は立って、聞き手が床に座っている時は、椅子に座って読み聞かせをするとよい。

## 参加した児童の感想

- ・本のめくり方、もち方などについてたくさんのアドバイスをもらうことができてとても勉強になった。学校で読み聞かせをするときにぜひ活用してみたい。
- ・学校では、コロナウイルスの関係で1年生と触れ合うことができていないから、読み聞かせを通して1年生と交流したい。
- ・学校で「日本十進分類法」を使って読みたい本を探してみたい。
- ・図書室にいと、よく低学年の人に本の種類を聞かれることがあるので、教えてあげたい。